

ひ た け お し

保存版

見える場所に
保管して
お使いください

ぼう さい

いつかのために今からそなえる
はやめの情報！ はやめのひなん！！

防災ハザードマップ付き

情報は早めに!!
市からの情報はQRコード
からとれるよ!!



空メールを送ってね

WEBハザードマップでも
マップの確認ができます

ぼうさい たけお



早めのひなん!!

自分の身は
自分で守ろう!!

地域の助け合い!!

もっていくものは?

そなえる
ワン!!

ひなんじょはどこ?



令和元年 8 月 佐賀豪雨について

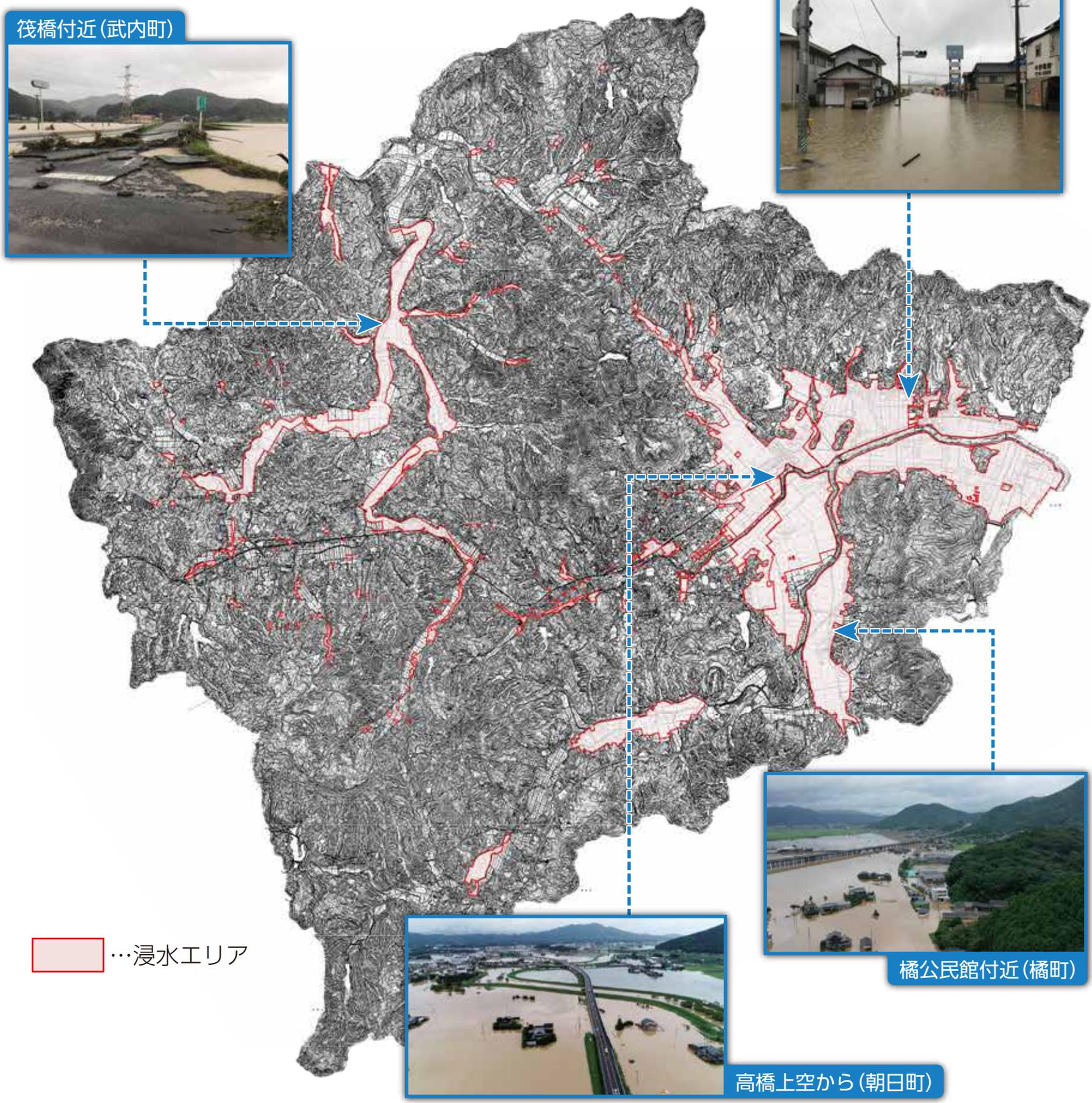
・ 武雄市の被害状況 ・

2019(令和元)年8月28日午前3時頃から市内各地で記録的な大雨となり、内水氾濫が発生し、北方町では時間雨量101mm(午前3時～午前4時)を観測し、市の面積の1割にあたる約1,920haが浸水しました。

特に六角川水系河川では橘町、朝日町、北方町、松浦川水系河川では武内町の被害が甚大でした。

この災害での被害は、死者3名、重傷者2名を数え、家屋浸水1,536棟(床上浸水1,025棟、床下浸水511棟)の被害が発生しました。その他道路の冠水、土砂災害による通行止め、河川、農地の崩壊などにより、市民の生活に多大な影響を与えました。

・ 被害状況図 ・



はじめに

・「たけおしぼうさい」発行に寄せて・

このたび市民の皆様には風水害や地震に関する情報を提供し、災害に対して事前の備えに役立てていただくことを目的に「たけおしぼうさい」及び防災ハザードマップを改訂いたしました。

この防災ハザードマップは、土砂災害や浸水害の危険箇所、避難所などをはじめ、様々な災害に対する知識と備えをまとめております。ご家族で災害から身を守ることにについて話し合う機会や、自主防災組織などの活動の際にぜひ役立てていただきますようお願いいたします。

今後も、市民の皆様と行政が連携・協力し「災害に強いまちづくり」の実現にむけて、全力をあげて取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

・ 目次 ・

● 令和元年8月 佐賀豪雨について …………… 1	● 火災 …………… 13
● はじめに …………… 2	● 防災対策&チェック …………… 14~15
● 「たけおしぼうさい」の使い方 …………… 3	● 非常時持ち出し品の準備 &チェック …………… 16~17
● 防災ハザードマップ索引図 …………… 4~5	● 避難時の注意点 …………… 18
● 避難所・避難場所一覧 …………… 6~7	● 自助・共助・公助 …………… 19
● 避難情報 …………… 8	● 災害情報について …………… 20
● 特別警報をご存じですか? …………… 9	● もしもの備えできてますか? …………… 21
● 洪水 …………… 10	● 防災に関する知識 …………… 裏表紙
● 風水害・台風 …………… 11	
● 地震 …………… 12	

洪水浸水想定区域図について

この防災ハザードマップの洪水浸水想定区域図は、想定される最大規模の降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水の深さを表したものです。

想定される最大規模の降雨に伴う洪水により六角川、松浦川、武雄川、高橋川が氾濫した場合の浸水を予測したものです。しかし、この洪水浸水想定区域に指定されていない場所においても浸水する場合や、想定される水の深さが異なる場合があります。

想定される最大降雨量とは：六角川流域の6時間総雨量 424mm (H28.5 国土交通省 指定)
松浦川流域の6時間総雨量 515mm (H31.3 佐賀県 指定)
武雄川流域の6時間総雨量 629mm (H31.3 佐賀県 指定)
高橋川流域の6時間総雨量 629mm (H31.3 佐賀県 指定)

発行：武雄市

制作・著作：株式会社ゼンリン佐賀営業所

作成：令和3年3月

「この地図は、武雄市長の承認を得て武雄市所管の測量成果を使用して、調製したものである。(承認番号) 武市都第55号」

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 2JHs 293-161号」

JIS Z 8210 広域避難場所

「たけおしぼうさい」の使い方

- 「たけおしぼうさい」は、見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 防災ハザードマップに表示してある危険箇所については、土砂災害、洪水、浸水の発生する可能性のある場所を示しています。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。

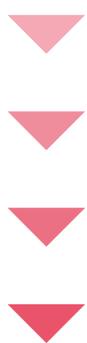
・ステップ1・ 防災ハザードマップから自宅周辺の災害リスクを確認しましょう



- 自宅周辺に洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域があるのか確認しましょう
- ➔地区ごとの防災ハザードマップ
(冒頭ページに差し込み)



・ステップ2・ 最寄りの避難所を確認しましょう



- 避難所一覧から確認しましょう
- ➔6～7ページ「避難所・避難場所一覧」
- 防災ハザードマップから確認しましょう
- ➔地区ごとの防災ハザードマップ
(冒頭ページに差し込み)



・ステップ3・ 非常時持ち出し品を確認しましょう



- 非常時持ち出し品・備蓄品を確認しましょう
- ※家族構成で持ち出し品は変わります
- ➔16～17ページ「非常時持ち出し品の準備&チェック」

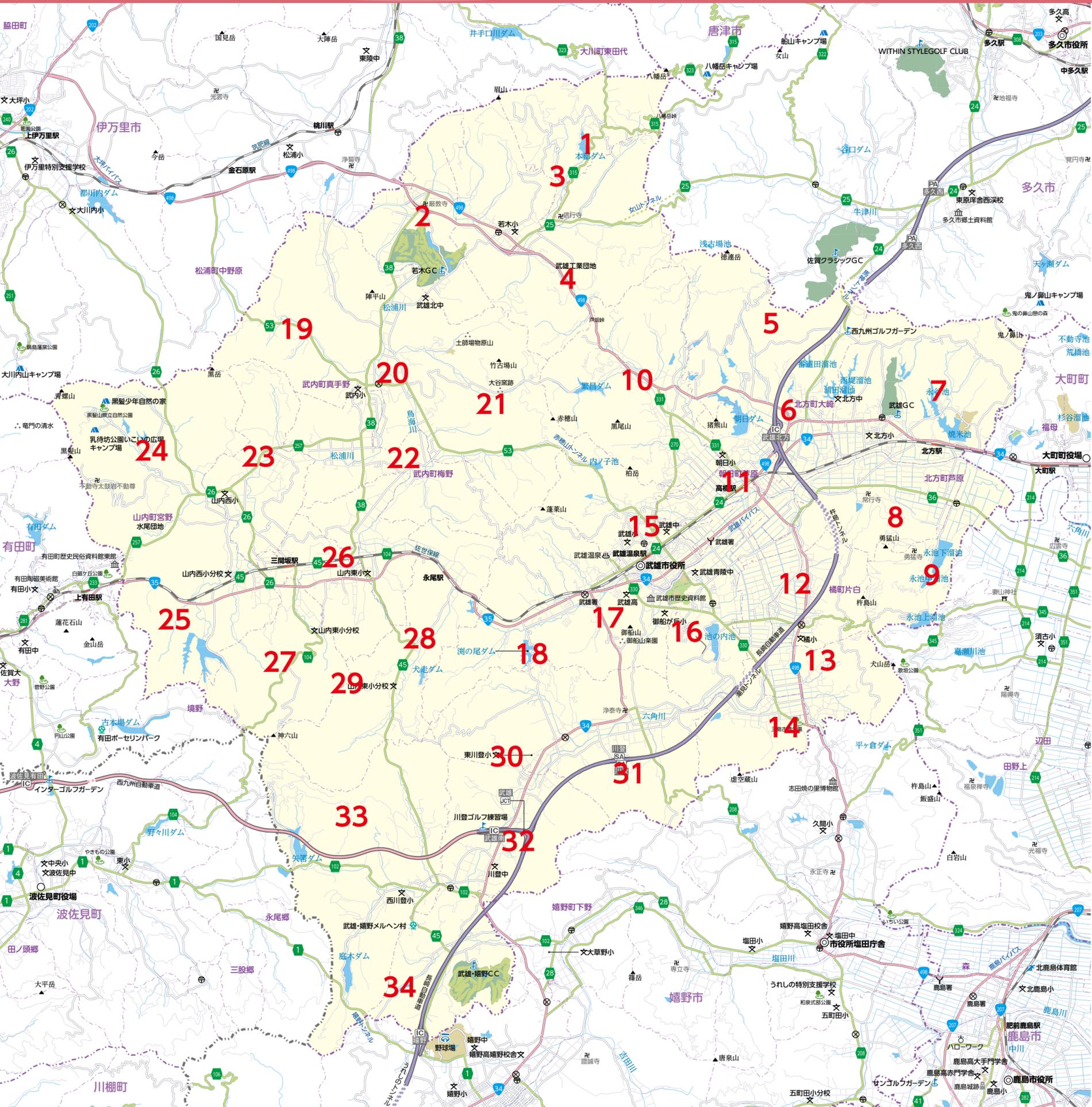


・ステップ4・ 防災情報の入手方法を確認しましょう

- 市役所及び各関連機関が発信する正確な情報の入手方法を確認しましょう
- ➔P20「災害情報について」



防災ハザードマップ索引図



No.	町名	マップの範囲
①	若木町 1	若木町大字本部 1
②	若木町 2	若木町大字本部 2、大字桃川
③	若木町 3	若木町大字川古 1
④	若木町 4	若木町大字川古 2
⑤	北方町 1	北方町大字大崎 1
⑥	北方町 2	北方町大字大崎 2
⑦	北方町 3	北方町大字志久
⑧	北方町 4	北方町大字芦原
⑨	北方町 5	北方町大字大渡
⑩	朝日町 1	朝日町大字中野
⑪	朝日町 2	朝日町大字甘久
⑫	橘町 1	橘町大字片白、芦原
⑬	橘町 2	橘町大字大日
⑭	橘町 3	橘町大字永島
⑮	武雄町 1	武雄町大字富岡、昭和
⑯	武雄町 2	武雄町大字永島
⑰	武雄町 3	武雄町大字武雄 1
⑱	武雄町 4	武雄町大字武雄 2
⑲	武内町 1	武内町大字真手野 1
⑳	武内町 2	武内町大字真手野 2
㉑	武内町 3	武内町大字真手野 3
㉒	武内町 4	武内町大字梅野
㉓	山内町 1	山内町大字大野
㉔	山内町 2	山内町大字宮野 1
㉕	山内町 3	山内町大字宮野 2
㉖	山内町 4	山内町大字鳥海 1、三間板
㉗	山内町 5	山内町大字鳥海 2
㉘	山内町 6	山内町大字犬走 1
㉙	山内町 7	山内町大字犬走 2
㉚	東川登町 1	東川登町大字永野 1
㉛	東川登町 2	東川登町大字永野 2
㉜	東川登町 3	東川登町大字袴野
㉝	西川登町 1	西川登町大字神六 1
㉞	西川登町 2	西川登町大字神六 2、小田志

地区によって冒頭ページに差し込まれている地図を上記の通り分けております。

避難所・避難場所一覧

・避難施設について・

- 武雄市では、公民館、小中学校等を避難所として指定しています。
- 災害が発生するおそれがある場合は避難情報を発令しますので、速やかに避難行動をとりましょう。
- 近くに市指定の避難所がない場合も考えられます。地区の公民館等が安全な場所にある場合には、区長さんや区役員さんへ連絡し地域での対応をお願いします。また、**避難所では感染症対策を徹底しておりますが、人が密集することで、感染リスクが高まります。できる限り、親戚・知人・友人宅や自家用車などへの分散避難をお願いします。**
- 夜間などの大雨で避難することが危険な場合は、近所や自宅内のできるだけ安全な場所（崖から離れた場所や2階など高い場所）で身の安全を確保してください。
- ペットとの同行避難を希望される方は、事前に災害対策本部か、開設している避難所へご相談ください。

・避難所・避難場所一覧・



①指定避難所

災害が発生するおそれがある、または災害が発生した場合、一時的に滞在させることを目的とした施設です。

- **1次避難所** 市が避難情報を発令した場合に開設します。また、台風が接近する予想がある場合などには、自主避難所としても開設します。
- **2次避難所** 避難情報のレベルが上がった場合に開設します。大規模災害時、もしくはそのおそれがある時に1次避難所と同時に開設される場合もあります。1次避難所の収容人数の上限に達する可能性がある場合などに開設します。



②指定緊急避難場所

災害の危険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所です。
※避難所区分 1次…1次避難所 2次…2次避難所 緊急…指定緊急避難場所

問い合わせ先

武雄市役所 (災害対策本部) 23-9223

町名	避難所・避難場所	所在地	問い合わせ先	避難所区分	風水害	地震災害
武雄	武雄市役所	武雄町大字昭和 12-10	災害対策本部	緊急	○	○
	武雄市文化会館	武雄町大字武雄 5538-1	23-8147	1次・緊急	○	×
	武雄小学校	武雄町大字富岡 9159	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	御船が丘小学校	武雄町大字武雄 4595	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	武雄中学校	武雄町大字富岡 11606	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	武雄河川事務所	武雄町大字昭和 745	災害対策本部	緊急	○	○
橘	橘公民館	橘町大字大日 8507-7	22-3884	1次・緊急	○	○
	橘小学校	橘町大字片白 8718-1	災害対策本部	2次・緊急	○	○
朝日	朝日小学校	朝日町大字甘久 4354-1	22-2849	1次・緊急	○	○
	武雄河川事務所朝日出張所	朝日町大字甘久 1521-6	災害対策本部	緊急	○	○
若木	若木公民館	若木町大字川古 7474	26-2004	1次・緊急	○	○
	若木小学校	若木町大字川古 8038	災害対策本部	2次・緊急	○	○
武内	武内公民館	武内町大字真手野 28044	27-2001	1次・緊急	○	○
	武内小学校	武内町大字梅野乙 15041-2	27-2292	2次・緊急	○	○
	武雄北中学校	武内町大字真手野 25956-3	災害対策本部	2次・緊急	○	○
東川登	東川登公民館	東川登町大字永野 6240-8	23-3009	1次・緊急	○	○
	東川登小学校	東川登町大字永野 5893	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	川登中学校	東川登町大字袴野 16082	災害対策本部	2次・緊急	○	○
西川登	西川登小学校	西川登町大字神六 20584	28-2110	1次・緊急	○	○
山内	山内東小学校	山内町大字鳥海 9602-1	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	山内西小学校	山内町大字大野 6900	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	山内中学校	山内町大字三間坂甲 14209	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	山内公民館	山内町大字三間坂甲 13800	45-2139	1次・緊急	○	○
	山内保健センター	山内町大字三間坂甲 13887	45-5455	2次・緊急	○	○
北方	北方公民館	北方町大字大崎 2217	36-2515	1次・緊急	○	○
	北方小学校	北方町大字志久 1389	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	北方中学校	北方町大字志久 2384-2	災害対策本部	2次・緊急	○	○
	北方保健センター	北方町大字志久 1674-2	36-3434	2次・緊急	○	○
	北方東体育館	北方町大字大渡 3656	36-2159	2次・緊急	○	○



③福祉避難所

高齢の方や障がいがある方など配慮が必要な方が避難できる施設です。
※福祉避難所への避難は、施設と調整する必要がありますので、下記へご連絡ください。

武雄市役所 (災害対策本部) **23-9223**

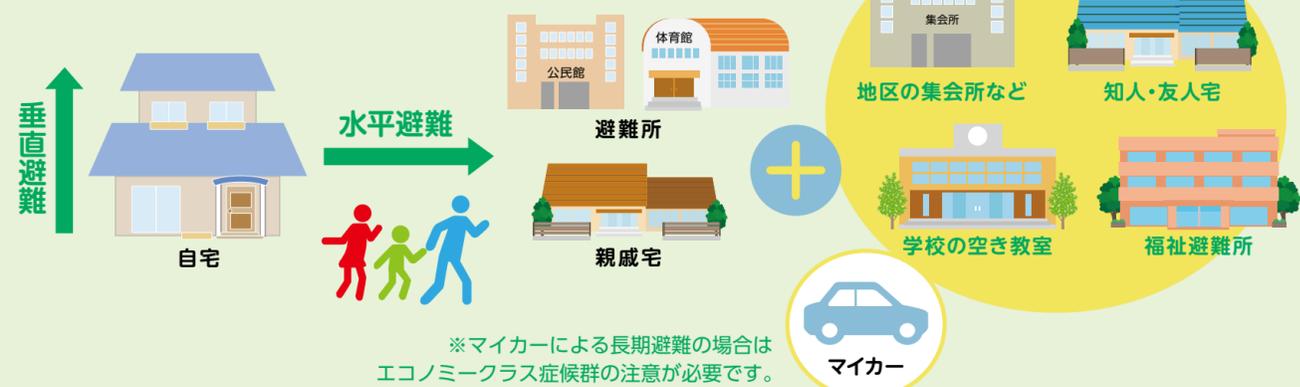
福祉課 **23-9235**

町名	福祉避難所	所在地
武雄	老人福祉センター日輪荘	武雄町大字武雄 4341
	介護老人保健施設コスモス	武雄町大字永島 13821
	障害者福祉サービス事業所ワークショップ道の家	武雄町大字富岡 11083-1
	佐賀県立武雄青陵中学校	武雄町大字永島 13233-2
橘	障害者福祉サービス事業所いぶき村	橘町大字芦原 5683-15
	くろかみ学園児童発達支援センター	橘町大字片白 8974
朝日	介護老人保健施設たんぽぽ	朝日町大字中野 11296-1
	養護老人ホームシルバーケア武雄	朝日町大字甘久 4269-28
武内	介護老人福祉施設ひいらぎ	武内町大字真手野 26346
東川登	介護老人福祉施設御船荘	東川登町大字永野 4058-5
山内	老人福祉センターさざんか荘	山内町大字三間坂 13887
	介護老人福祉施設そよかぜの杜	山内町大字大野 7045
	障害児入所施設くろかみ学園	山内町大字大野 7206-1
	障害者支援施設すみよしの里	山内町大字大野 7206-1
北方	老人福祉センター長寿園	北方町大字志久 5772-5
	介護老人福祉施設杏花苑	北方町大字志久 4641-26

これからの避難のあり方

- 指定避難所以外に、友人宅や学校の空き教室など避難の選択肢を広げ、密を避けた避難方法を「分散避難」といいます。
- 小中学校の空き教室等を活用しスペースを確保します。事前に友人宅なども避難先として確保しておきましょう。

感染症対策として密を避けるために、例年より多くの避難所を開設します!!



市が行うこと

- 避難所での受付時に健康チェックを行います。
- 手指消毒液を準備します。
- 飛沫感染を防ぐため、ダンボールベッドを用意します。
- ソーシャルディスタンスの確保を行うため、ダンボール間仕切りを用意します。
- 避難所内での感染防止策を徹底します。

みなさんが行うこと

- 水、食料など、避難に必要なものの持参をお願いします。(P16~17参照)
- 避難所内ではマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒をお願いします。
- 定期的な室内の換気をお願いします。
- 避難所の運営について協力をお願いします。

いつかではなく、いまから備えましょう!

避難情報

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

<避難情報等>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔武雄市が発令〕
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難指示(緊急)* 避難勧告 *地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔武雄市が発令〕
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〔武雄市が発令〕
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

<防災気象情報>

【警戒レベル相当情報(例)】

警戒レベル5相当情報

氾濫発生情報
大雨特別警報 等

警戒レベル4相当情報

氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

警戒レベル3相当情報

氾濫警戒情報
洪水警報
大雨警報 等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

～各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。～

・大雨のとき・

各河川ごとの水位基準が避難を要する水位に達したときや、県と気象庁が共同で土砂災害警戒情報を発表したときに避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。



大雨のときの避難行動

避難は災害から命を守るための行動です。大雨による災害から身を守る避難行動は、従来、避難勧告等の発令時に行う避難所・緊急避難場所への避難が一般的でしたが、今後は次の全ての行動を避難行動とします。

1

避難所・避難場所への移動

2

警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難(公園、親戚・知人・友人宅等)

3

近隣の強固で高い建物等への移動

4

建物内の安全な場所での待避(家屋内の垂直避難)

やむを得ず、家屋内に留まった場合。安全を確保する避難行動として、洪水対策では浸水想定区域より高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。

屋外が安全で移動できる状態のとき

屋外が危険な状態などのとき

※特に、河川氾濫の浸水区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、皆さんが早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることにあります。

・地震のとき・

大きな地震に伴って、建物の倒壊の危険や火災発生のため、避難が必要なときや、土砂災害の危険が切迫しているとき、または危険物取扱施設の爆発など、二次災害が発生するおそれがあるときに避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。



・火災のとき・

大規模に延焼が拡大するおそれがあるときに避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。



・その他・

災害が発生するおそれがあるときに避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)を発令します。

特別警報をご存じですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

・ 特別警報の発表基準 ・

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	暴風が吹くと予想される場合	
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	高潮になると予想される場合 武雄市では発生のおそれはありません
波浪		高波になると予想される場合 武雄市では発生のおそれはありません
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

※表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

・ 大津波警報などを特別警報に位置づけます ・

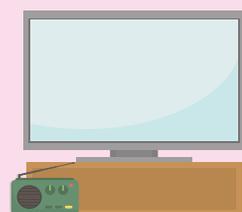
現象の種類	基準	
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)	
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)	武雄市では発生のおそれはありません
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)	

特別警報が 発表されたら

- これまでにない大雨や大規模な冠水、土砂災害などが予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

・ 命を守るために情報の収集に努めてください ・

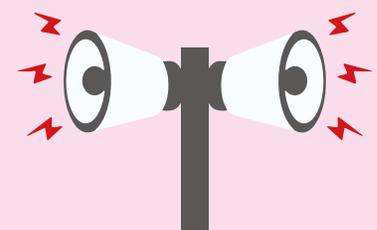
特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・
気象庁ホームページ



防災行政放送・広報車

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報が発表されないからといって安心することは禁物です。

これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。 ※気象庁ホームページより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、佐賀地方気象台ホームページに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

佐賀地方気象台

〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-3-20 (佐賀第2合同庁舎8階)
電話:0952-32-7027

佐賀地方気象台ホームページ <https://www.jma-net.go.jp/saga/>

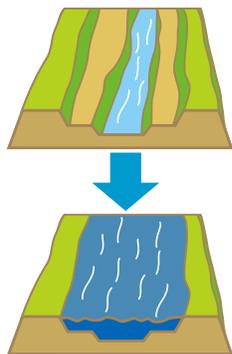
洪水

・洪水の基礎知識・

強い雨が広範囲に、長時間続くときに、洪水災害が発生する危険性が高まります。発生メカニズムを知り、堤防決壊の前兆に注意しましょう！

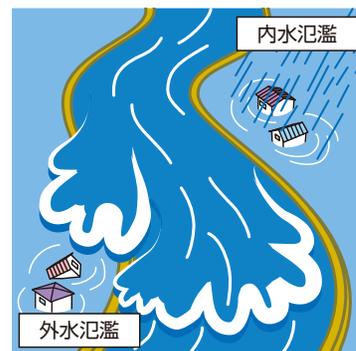
洪水

洪水とは大雨によって、川の水の量が普段より、いちじるしく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに細い川しか流れていませんがそれが普段の姿です。ところが川幅いっぱいになり水が押し寄せると、広い河原も水の下に隠れて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。



氾濫

氾濫とは、雨などによって、街や農地などに水があふれることで、川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。川から水があふれたのではなく、街や農地に降った雨がそのまま溜まってあふれることを「内水氾濫」といいます。



右記のような前触れに注意して、危険を感じたら速やかに避難しましょう

- 堤防の川側が崩れ始めたとき
- 堤防の側面から水が漏れ出したとき
- 水が激流となって堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
- 堤防近くの地盤から水が噴き出すとき
- 水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
- 増水が早く、水が堤防を越えそうなき

・河川水位及び危険度レベル・

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

(単位:m)

河川名	六角川	高橋川	武雄川	松浦川	市や住民に求める行動
観測所	潮見橋(国)	高橋(県)	杉橋(県)	武内(県)	
レベル5相当 氾濫の発生					・市および住民は、新たに氾濫が及ぶ区域で避難の判断が必要
レベル4相当 氾濫危険水位	3.10	2.11	3.71	3.74	・住民の避難完了
レベル3相当 避難判断水位	2.80	1.93	3.47	3.30	・市は避難勧告の発令を判断 ・住民は避難を判断 ・市は避難準備・高齢者等避難開始の発令を判断
レベル2相当 氾濫注意水位	2.50	1.60	2.40	3.00	・住民は氾濫に関する情報に注意 ・水防団(消防団)出動
レベル1相当 水防団待機水位	1.50	1.40	1.90	2.40	・水防団(消防団)待機

すい坊くん(佐賀県河川情報システム)

六角川、松浦川の現在の様子をインターネットでご覧いただけます。

佐賀県 県土整備部 河川砂防課

<https://kasen.pref.saga.lg.jp/gispub/info/top/menu>



まずは、確実な情報が大事
その次に迅速な対応

武雄河川事務所 (雨量・水位リアルタイム情報)

六角川、松浦川の現在の様子をインターネットでご覧いただけます。

国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所

http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/bousai/PC/map_top.php

国土交通省「川の防災情報」

自分の気になる場所の川の防災情報を確認できます。

<http://www.river.go.jp/>

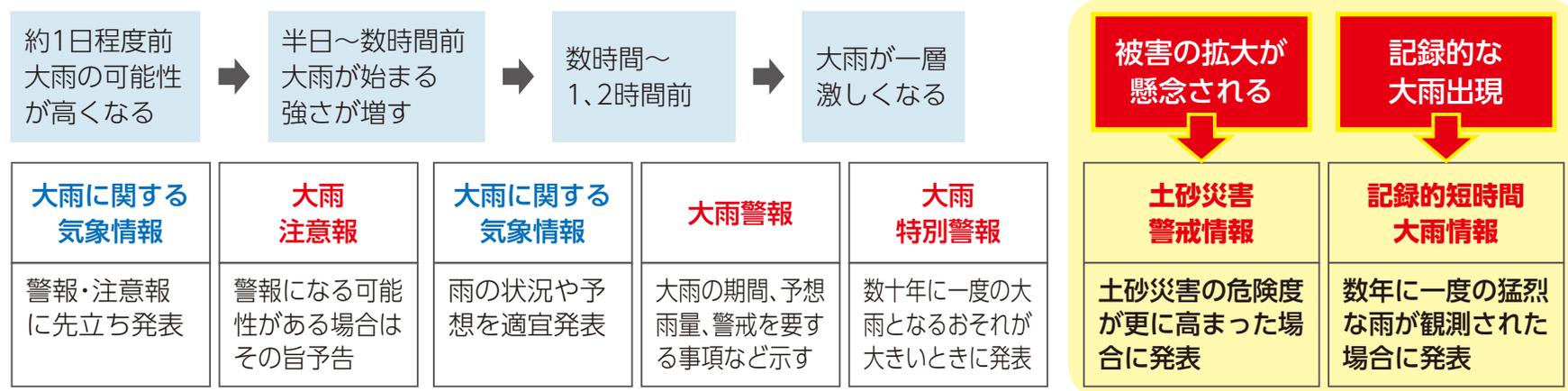


風水害・台風

大雨や強風は私たちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際も皆さんで協力しましょう。武雄市では災害が起きる恐れがある時は事前に避難所の開設を行っております。

・大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報・

下の内容は大雨が予想された場合の各種防災気象情報とタイミングの一例です。必ずこのような順序で発表されるとは限りませんが、どんなときにどんな情報が発表されるのかをイメージするのに活用して、防災意識を高めましょう。



・雨量の目安・

雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意して、危険と判断した場合は、警報や避難勧告が出る前でも、早めの避難を心がけましょう！

やや強い雨 1時間雨量：10～20mm	強い雨 1時間雨量：20～30mm	激しい雨 1時間雨量：30～50mm	非常に激しい雨 1時間雨量：50～80mm	猛烈な雨 1時間雨量：80mm以上
ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り、傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになる。危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

・集中豪雨・

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持ち出し品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！



・風の強さと吹き方・

(平均風速:m/秒)

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～25m/秒未満	25m/秒以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

・台風・

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。(平均風速:m/秒)

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型(非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

地震

・地震発生時の時間経過別行動マニュアル・

地震発生

1～2分

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に 声をかけよう

- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全確保 隣近所で助け合う
- 行方不明者はいないか ○ケガ人はいないか

出火防止 初期消火

- 初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 ○電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ○余震に注意

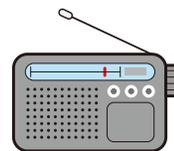


3分

5分

ラジオなどで正しい情報を得る

- 大声で知らせる ○救出・救護を ○防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ○避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



10分

数時間

協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ○無理はしない
- 助け合いの心が大切 ○壊れた家に入らない



3日

・屋内にいた場合・

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。



集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- あわてずに冷静な行動をとる。

・屋外にいた場合・

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

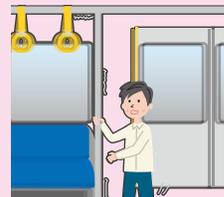


車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



火災

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。



・初期消火の3原則・

1. 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2. 早く消火する

- 初期消火は消火器が最も有効です。
- 消火器や水がない場合、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。
- もしものために住宅用消火器を設置しましょう。



・火元別初期消火のコツ・

油なべ	電気製品	衣類
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。	いきなり水をかけると感電の危険が。まずプラグをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。	着衣に火がついたら床に寝そべって、体を回転させて消す方法もある。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。
風呂場	ストーブ	カーテン・ふすま
風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。	消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。	カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3. 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。
- 身を低くして、(ハンカチ等で)口を押さえて避難する。



・消火器の使い方・

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかける上に引き抜く。 ホースをはずして火元に向ける。 レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

- (屋外の場合)風上に回り風上から消す。炎にはまともに正対しないように。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。
- (消火失敗に備えて)扉を背にして消火する。



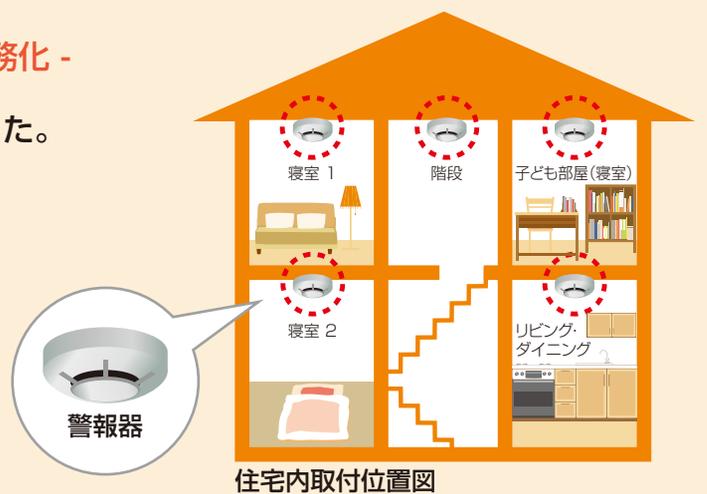
・火災予防が一番!! - 住宅用火災警報器の設置義務化 -

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子供部屋や老人の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置もおすすめします。

※住宅用火災警報器の電池は10年を目安に交換しましょう。



住宅内取付位置図

非常時持ち出し品の準備 & チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう。
日頃から準備できているか、チェックしましょう。

・非常時持ち出し品(例)・

それぞれのご家庭の状況に応じて必要なものを記入するなどして、活用してください。

携帯ラジオ



<input type="checkbox"/> ラジオ
<input type="checkbox"/> 電池 (多めに用意)
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

救急医療品



<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 傷薬
<input type="checkbox"/> 風邪薬	<input type="checkbox"/> 包帯
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	<input type="checkbox"/> 絆創膏
<input type="checkbox"/> 胃腸薬	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ふだん飲んでいる薬 (処方薬)	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

貴重品



<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 免許証
<input type="checkbox"/> 預金通帳	<input type="checkbox"/> 健康保険証
<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> 権利証書
<input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

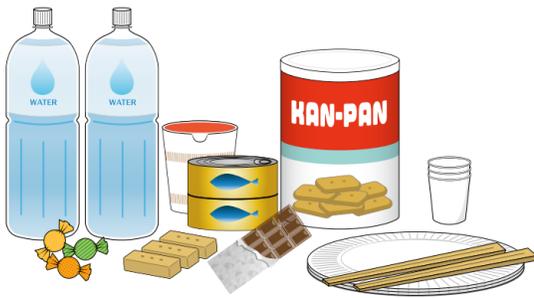
懐中電灯



<input type="checkbox"/> 懐中電灯 (できれば 1人にひとつ)
<input type="checkbox"/> 電池 (多めに用意)
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

非常食品等

火を通さなくて食べられるもの、食器など



<input type="checkbox"/> 非常用食品	<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 缶切り
<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> 紙皿	<input type="checkbox"/> 栓抜き
<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター	<input type="checkbox"/> 紙コップ	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> はしやスプーンなど	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他



<input type="checkbox"/> 衣類 (下着・上着など)	<input type="checkbox"/> 紙おむつ	<input type="checkbox"/> ヘルメット
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 粉ミルク	<input type="checkbox"/> ライター
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> メガネ
<input type="checkbox"/> カップ	<input type="checkbox"/> ラップフィルム (止血や食器にかぶせて使う)	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 補聴器
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器	<input type="checkbox"/> 防災ハザードマップ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

・非常時持ち出し品は定期的に点検を！・

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限、消費期限や持ち出し用品の不備が無いかを定期的に点検しましょう。



避難生活が長引くときに便利なもの

<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> 裁縫セット	<input type="checkbox"/> 筆記用具(マジックなど)	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/> (布製)ガムテープ	<input type="checkbox"/> スコップ	<input type="checkbox"/> ポリタンク	<input type="checkbox"/> ビニールシート
<input type="checkbox"/> 車のジャッキ	<input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> バール・ハンマー・のこぎり
<input type="checkbox"/> 補助用具としてのロープ	<input type="checkbox"/> 予備の眼鏡・補聴器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

など

感染症対策

<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 除菌シート	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

など

・非常時用備蓄品(例)・

災害復旧までの数日間(最低3日)を自活するための備蓄品

飲料水



<input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルの ミネラルウォーター (1人1日3リットルを目安に)
<input type="checkbox"/> 貯水した防災タンクなど
<input type="checkbox"/>

非常食品



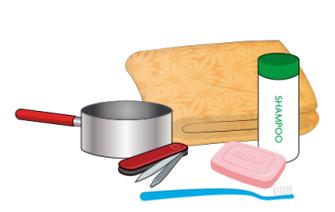
<input type="checkbox"/> お米(缶詰・レトルト・ アルファ米も便利)
<input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品
<input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など
<input type="checkbox"/> ドライフーズ・ チョコレート・アメ (菓子類など)
<input type="checkbox"/>

燃料



<input type="checkbox"/> 卓上コンロ
<input type="checkbox"/> ガスボンベ
<input type="checkbox"/> 固形燃料
<input type="checkbox"/>

その他



<input type="checkbox"/> 生活用水 (風呂・洗濯機などに貯水)
<input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ ドライシャンプーなど
<input type="checkbox"/> 調理器具 (なべ・やかんなど)
<input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア 用品など
<input type="checkbox"/>

非常時持ち出し品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。
とくに食品や飲料水の賞味期限や消費期限はまめにチェックし、期限が過ぎたものから順に入れ替えておきましょう。

避難時の注意点

皆さんで助け合い、落ち着いて早めに避難できるようにしましょう！

戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。
避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまとめましょう。



車での避難は控える！

緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなり危険です。



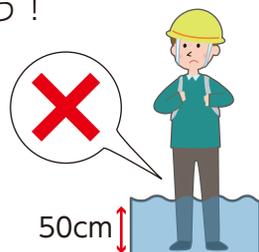
速やかに避難を！

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。

・洪水・土砂災害での避難の仕方・

歩ける深さに気をつける！

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう！



履き物に注意！

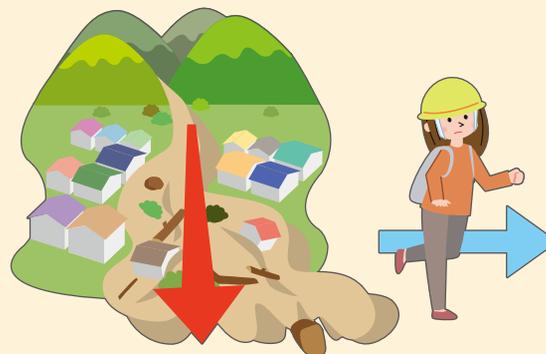
裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



・もしも、土石流に遭遇したら・

逃げ方に注意しましょう！

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



ロープでつながる！

はぐれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう！
また、水面下には危険が潜んでいます。
長い棒を杖がわりに安全確認をしてください。



・災害時のメンタルヘルス・

武雄市では保健師の避難所訪問を行っておりますので、必要な時にご相談ください。

1. 症状

災害のように大変強いストレスにさらされると、程度の差はあっても、だれでも次のようなさまざまな心身の反応や状況が現れます。

心理面	①感情が動かなくなる ②強い不安・恐怖 ③眠れない・夜中に目が覚める ④孤独感・罪悪感 ⑤いらいら・怒り	行動面	①怒りっぽくなる ②興奮、取り乱す ③閉じこもり ④飲酒や喫煙の増加 ⑤生活が不規則になる
思考面	①物事に集中できない ②思考力の減退、まひ、混乱 ③忘れっぽい、覚えられない ④判断力・決断力の低下 ⑤無気力	身体面	①頭痛・肩こり ②足のだるさ ③胃のもたれ・下痢や便秘 ④息苦しさ ⑤食欲不振

2. 予防と解消

- 家族や友人とのきずなを大切にしましょう
- 規則正しい生活をこころがけましょう
- 身体をリラックスさせてあげましょう
- 楽しみを見つけ、気分転換を図りましょう
- つらいことは一人で抱え込まず、誰かに話してきちんと受け止めてもらいましょう

佐賀県精神保健福祉センター

電話 0952-73-5060

杵藤保健福祉事務所
武雄市役所健康課

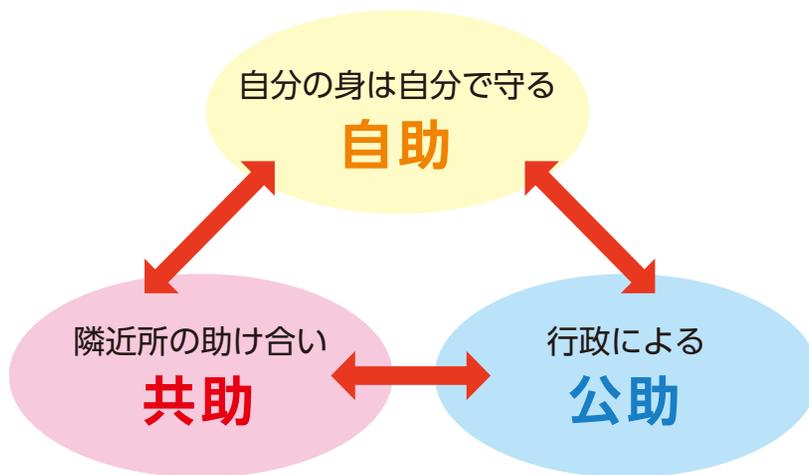
0954-22-2103
0954-23-9131

自助・共助・公助

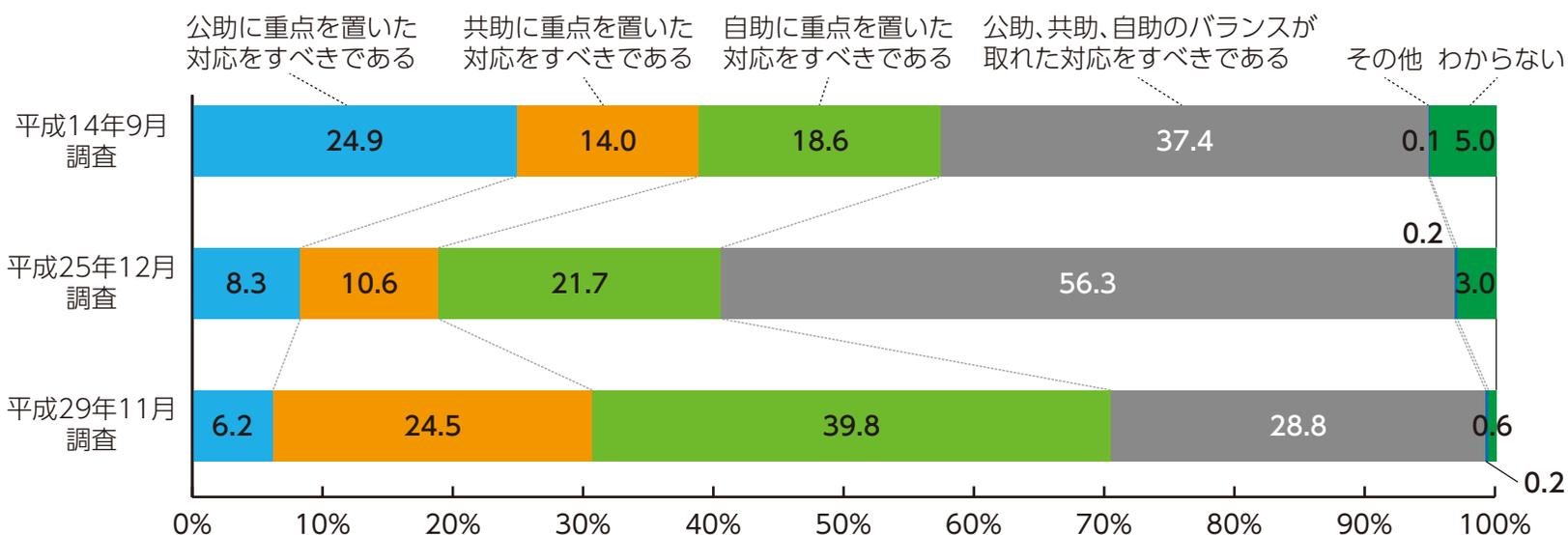
・自助・共助・公助の連携・

大規模な自然災害が発生した場合には、自分自身や家族・財産は自分で守る「自助」、地域や近隣の人々が互いに助け合う「共助」、公的機関が行う活動「公助」が連携する必要があります。

大規模な自然災害が発生した時には、公的機関が行う活動「公助」は、交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、「自助」と「共助」による地域の防災力が大変重要となります。



・自助、共助、公助の対策に関する意識の変化・



出典：令和2年版 防災白書 | 附属資料57 自助、共助、公助の対策に関する意識

・「自主防災組織」とは？・

- 災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言い、武雄市では地区単位で組織されています。
- 平常時には防災訓練や広報活動、災害時には、初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食給水などの活動を行います。



・なぜ、「自主防災組織」が必要なの？・

- 大規模な災害が発生した時、地域の皆さんが協力し、災害や避難に関する情報の伝達、避難誘導、安否確認、救出・救護活動に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。より効率よくさまざまな活動をするためにも事前の準備(=体制づくり)が重要です。

武雄市では防災ワークショップやマイマップ作り等の出前講座を行っております。ぜひご活用ください。

・連絡表・

万が一に備え、地区や班の代表者などの連絡先を記入しておきましょう。

氏名	連絡先	メモ

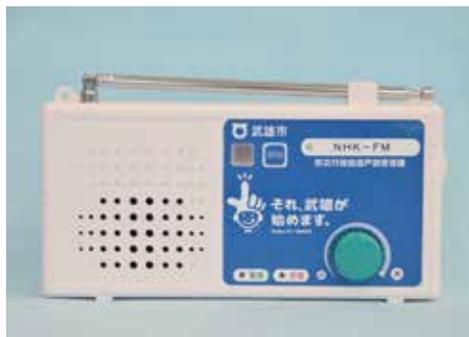
災害情報について

・戸別受信機・

防災情報、行政情報等が放送される「戸別受信機」の設置を希望される方は、武雄市役所 防災・減災課(23-9223)へご相談ください。

情報を確実にお届けします！

大雨警報が発表されました



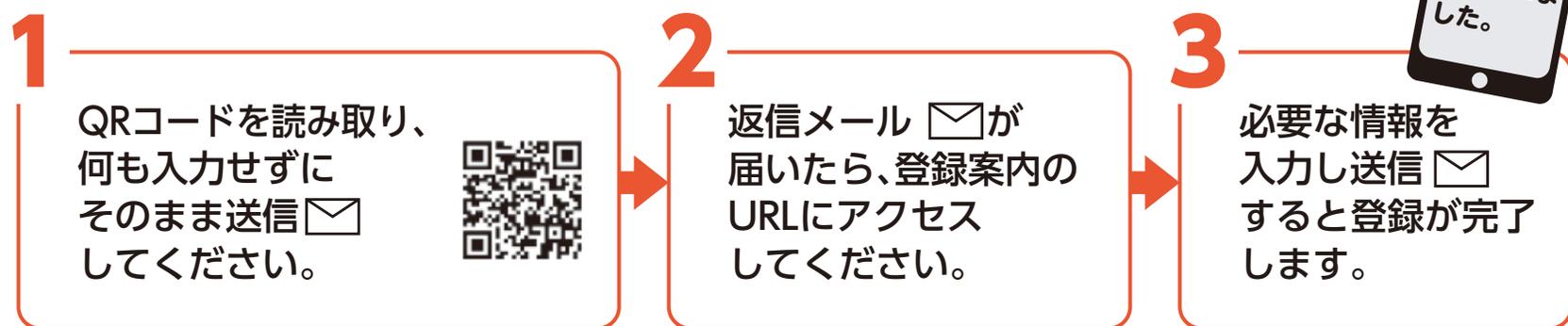
▲設置される戸別受信機

このような情報が届きます

気象情報 警報発表、解除をお知らせします	防災情報 避難情報など災害発生時に命を守るための情報を発信します
火災情報 火災発生、鎮火をお知らせします	行政情報 住民検診などの情報を発信します

・武雄市登録メール・

戸別受信機の放送内容をメールで受け取ることができます！



※QRコードが読み取れない場合は次のアドレスに空メールを送信してください。

➡ bousai.takeo-city@raiden2.ktaiwork.jp

※iPhoneは空メールを送る際に本文に空白を入れて送信してください。

※登録すると各町公民館からのお知らせも受け取ることができます。

※令和3年1月1日より運用開始

・武雄市防災行政放送音声案内サービス・

災害情報などをお知らせする防災行政放送が雨や周辺の音と重なり、聞き取りにくい場合や、聞き逃した場合にご活用ください。

- 右記番号へお電話ください。(放送内容が流れます。)
- 複数の放送は、最新の放送から順番に流れます。
- 回線が混みあっている場合は、つながりにくいことがあります。

無料ダイヤル

0800-200-4004

・ケーブルテレビテロップ放送・

防災行政放送(気象情報、防災情報、火災情報)が流れた際に、放送内容がケーブルテレビチャンネル内でテロップによる文字放送が流れ、放送内容の確認ができます。

・その他 武雄市からの情報は・

市公式ホームページ	https://www.city.takeo.lg.jp
市公式フェイスブック	https://www.facebook.com/takeocity
市公式ツイッター	https://twitter.com/takeocity

災害のおそれがあるときや災害時にはいろいろな情報を取得しましょう

テレビ、ラジオ、インターネット、アプリなどいろいろな情報を取得することで、命を守る行動につながります。

もしもの備えできていますか？

突然起こりうる災害を予測するのは難しいものです。いざというときの家族の行動、避難場所や避難方法、連絡方法などを普段から家族でよく話し合っておきましょう。その際、「非常時持ち出し品の準備&チェック」のページを活用して、持ち出し品の点検も行っておきましょう。

・家族で話し合っておきたい項目・

- ① 家の中ではどこが一番安全か
- ② 救急医薬品や消火器などを準備しているか
- ③ 乳幼児や高齢者の面倒は誰がみるのか
- ④ 安全な避難経路、避難場所はどこにあるのか
- ⑤ 避難するとき、誰が何をもち出すのか、非常時持ち出し袋はどこに置くのか
- ⑥ 家族間の連絡方法と最終的に出会う場所はどこにするのか
- ⑦ 昼の場合と夜の場合の役割分担は、はっきり決まっているか
- ⑧ 地域の防災活動(自主防災組織の訓練など)に参加しているか



・家庭のオリジナルマップの作成・

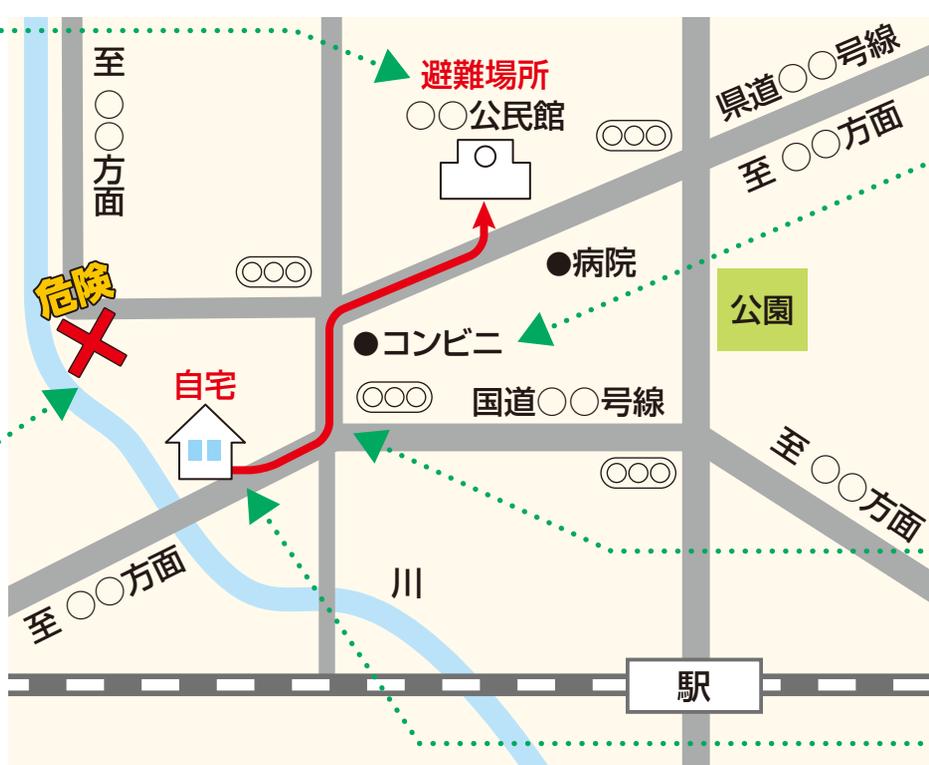
家族で話し合った内容なども踏まえ、自宅から避難場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家庭内で共有しておきましょう。

避難場所

災害が発生した際に避難する場所をあらかじめ確認しておきましょう。

危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような箇所には印をつけ、その避難経路はとらないようにしましょう。



目印となる場所

避難経路上で目印となる箇所を書き込んでみましょう。特に曲がり角には分かりやすいように目印を加えてみましょう。

避難経路

避難場所までの経路となる、矢印を書き込みましょう。

自宅

自宅を書き込みましょう。

・自主防災組織への参加・

巨大地震などで大規模災害が発生すると、火災の複数同時発生や建物崩壊、交通網の寸断などで防災機関が十分に機能しなくなる可能性が考えられます。こうした場合、個人や家族だけの力では各地域の被災者、負傷者を助けることは困難となるため、近隣住民や地域で一体となって協力して防災活動を行う「共助」が重要です。「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えで隣近所がお互いに協力し、地域ひとつになって防災活動を行うのが「自主防災組織」です。「自主防災組織」での訓練は、防災活動に関する知識や技術を学ぶのによい機会です。ぜひ参加しましょう。



防災に関する知識

・緊急時の連絡先・

災害等の連絡は **武雄市役所 (災害対策本部) 0954-23-9223**

警察は **110** 番

消防・救急は **119** 番

行政関係

気象に関することは	電話番号
佐賀地方気象台	0952-32-7027
六角川に関することは	電話番号
武雄河川事務所	0954-23-5151
国道に関することは	電話番号
佐賀国道事務所 武雄維持出張所	0954-23-3206
県道、県河川に関することは	電話番号
杵藤土木事務所	0954-22-4196
山林に関することは	電話番号
杵藤農林事務所	0954-63-5111

その他公共的団体

名称	電話番号
(社福)武雄市社会福祉協議会	0954-26-8013

ライフライン

電話の故障に関することは	電話番号
NTT西日本	0120-444-113
電気のことは	電話番号
九州電力送配電(株) 武雄配電事業所	0120-986-938
上水道のことは	電話番号
佐賀西部広域水道企業団 武雄営業所	0954-22-2874
下水道のことは	電話番号
武雄市 環境部 下水道課	0954-23-9118
ガスのことは	電話番号
(一社)佐賀県LPガス協会	0952-22-5516
ゴミのことは	電話番号
武雄市 環境部 環境課	0954-27-7163

警察・消防

名称	電話番号
武雄警察署	0954-22-2144
武雄消防署	0954-23-2151
武雄消防署 山内分署	0954-45-4325

・連絡方法の確認・

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

一般社団法人電気通信事業者協会 <<災害時の電話の利用方法>>	https://www.tca.or.jp/information/disaster.html
NTT西日本 <<災害用伝言ダイヤル171>>	https://www.ntt-west.co.jp/dengon/
災害用伝言ダイヤル171の利用方法・・・[171]をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行ってください。	
NTT西日本 <<災害用伝言板(web171)>>	https://www.web171.jp/web171app/topRedirect/
NTTドコモ <<災害用伝言板>>	https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/index.html
au <<災害用伝言板サービス>>	https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/
SoftBank <<災害用伝言板>>	https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/
ワイモバイル <<災害用伝言板サービス>>	https://www.ymobile.jp/service/dengon/

・緊急速報メール・ 「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の避難勧告などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に市内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

- 「緊急速報メール」とは、避難勧告などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話へ一斉にメールを配信するものです。(NTTドコモでは「エリアメール」と称されています)
※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせください。
- 配信する情報は、避難勧告や避難指示(緊急)など、緊急かつ重要な情報です。
- 携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

・もしもの災害に備えて、家族の連絡先、避難所を記入しておきましょう。・

家族の連絡先

名前	連絡先

避難所

施設名	連絡先